

第60回

衛星放送のプラットフォームガイドラインに関する委員会
議事要旨（案）

開催日時 2023年8月25日 13:30～15:00

開催場所 オンラインおよび実開催（衛星放送協会会議室）

出席者

委員長代理	音 好宏	上智大学 文学部 教授
委員	石岡 克俊	慶應義塾大学大学院 法務研究科 教授
委員	岡本 光正	(一社)衛星放送協会 専務理事
委員	笹島 一樹	(株)インタラクティブィ代表取締役社長
委員	松谷 浩一	(株)スカパーJSATホールディングス 取締役
委員	奥永 孝仁	スカパーJSAT(株) 執行役員メディア事業部門長代行

事務局	池田 邦彦	(一社)衛星放送協会 事務局長
	藤田 高弘	(株)東北新社 メディア事業部
	堀 智一	スカパーJSAT(株) メディア事業本部 放送事業部長
	酒井 陽一	スカパーJSAT(株) メディア事業部門経営企画部専任マネージャー

【資料】

- | | |
|--|----------------------|
| 60-1 議事次第 | 60-5 普及促進委員会 報告 |
| 60-2 第59回ガイドライン委員会議事要旨案
第59回ガイドライン委員会議事録案 | 60-6 8月25日経営者連絡会について |
| 60-3 第59回ガイドライン委員会の関連メモ | |
| 60-4 ガイドラインの運用状況について | |

1. 委員長代理挨拶

舟田委員長が欠席のため、音委員長代理から「第60回 衛星放送のプラットフォームガイドラインに関する委員会」を開催する旨の宣言があった。

実開催およびオンラインにて開催された。

2. 前回（第59回）議事録の承認・確定について

事務局より、前回第59回議事録(案)、第59議事要旨(案)（資料60-2）の確定について本日、舟田委員長欠席のため、「衛星放送のプラットフォームガイドラインに関する委員会」運営規則第5条4に基づき、次回（12月1日）の本会議にて決議となることが説明され、確認された。

ー運営規則 第5条4

「委員会の議事は、委員長を含む有識者3名および放送事業者代表1名ならびにスカパーJSAT代表1名以上の委員が出席しなければ議決できない。」

3. 申立の有無

放送代表委員から、前回の本委員会から今日に至るまで、申立は無かったと報告された。

4. 衛星放送のプラットフォームガイドラインの運用状況について

(1) ガイドライン運用全般について

スカパーJSAT代表委員から、2023年5月～2023年7月におけるガイドライン運用全般について「資料60-4」に沿って説明がなされ、ガイドラインに則り、運営されていることが報告された。

また、スカパーJSATの事業者向け情報開示について、以下の説明があった。

経営者連絡会 実施概要

ー2023年5月26日開催ー

衛星放送に関するプラットフォーム業務に係るガイドライン

Ⅱ-1-（1） 役務と提供条件の透明性「徴収した手数料等の使途概要」の説明

1. スカパーJSAT 2030年に向けて
2. 2022年第4四半期の業績概要・通期見通し
 - ・スカパー！3サービスの新規加入、解約、純増減の各件数実績の年度推移
ARPU推移、加入獲得、コストの内訳と各年度推移
 - ・スカパー！3サービスの顧客数純増減累計の通期見通し
3. 2023年度計画について
 - ・「優良顧客の定着」に向けた課題と対策

- ・スカパー！3サービスでの「優良顧客の定着」と「コストの効率化」の施策
- ・スカパー！ポイントプログラムについて
- ・2023年度 プラットフォーム年間計画案
- ・2023年度 加入計画（顧客ベース）

衛星放送に関するプラットフォーム業務に係るガイドライン

Ⅱ-1-(2) 広告宣伝・販売促進の考え方：普及促進業務に関わる計画の事前説明・実施結果の報告

1. FTTH事業の現状と施策
 - ・再送信事業、多チャンネル事業、ケーブルTV事業の各動向と施策結果
2. 基本プラン販促と番組配信強化
 - ・基本プラン契約拡大に向けた取り組み優良顧客層×エリア戦略の実行
 - ・放送+配信でのサービス力向上による契約動向変化
3. プレミアムサービスの取り組み
 - ・施策レビューと加入・解約動向
4. 放送外サービスの拡張展開
 - ・イベント・グッズ展開、SPOOXの施策レビュー

衛星放送に関するプラットフォーム業務に係るガイドライン

Ⅱ-2-(3) プラットフォーム事業者に係るソフト事業の透明性：「自らが放送するコンテンツの関連収入と費用の概要、実施結果」を報告

1. 2022年度 第4四半期のコンテンツ事業収支と年度推移

事業者連絡会 実施概要

－5月19日、6月30日、7月28日開催（すべてWeb会議開催）－

衛星放送に関するプラットフォーム業務に係るガイドライン

Ⅱ-1-(2) 広告宣伝・販売促進の考え方：普及促進業務に関わる計画の事前説明

1. プラットフォーム編成とプロモーション予定
 - 開催翌月以降の予定（各月説明）
2. Myスカパー！のサービス規約変更について（6月度・7月度）
3. 2023年度秋口施策に関して（6月度・7月度）
4. 番組配信強化のためのWEBサイト更改について（7月度）
5. 既加入者コミュニケーションのデジタル化推進について
6. 「ワクワクプレゼント」について（7月度）
7. 「標準サービス及び標準外サービス提供規約」の策定について

衛星放送に関するプラットフォーム業務に係るガイドライン

Ⅱ-1-(2) 広告宣伝・販売促進の考え方：実施結果の報告

1. 概況報告（各月報告）
 - ・新規、再加入、解約、純増の前月件数実績、当月見込み件数、翌月計画件、
 - ・2012年からの3サービスにおける顧客件数推移とICカード件数の推移
2. ポイントプログラム速報

[放送事業者の開閉局の動向（2023年5月～2023年7月）]

スカパー！：開局 0ch | 閉局 0ch | 事業譲渡 0ch | 社名変更 0ch | 内容等変更 0ch |
 チャンネル名称・料金変更 0ch | パックセット新設・変更 0ch
 プレミアム：開局 0ch | 閉局 0ch | 事業譲渡 0ch | 社名変更 0ch | 内容等変更 0ch |
 チャンネル名称・料金変更 0ch | パックセット新設・変更 0ch

[社内委員会の設置による適正性の確保（2023年5月～2023年7月）]

ガイドラインの運用が適正に行われているかをチェックするためのスカパーJSAT
 社内委員会は2023年5月12日、7月7日に開催され、その概要が報告された。

(2) 普及促進委員会の開催状況

事務局より、2023年6月から2023年8月までに開催された、親会および施策検討
 WGについて報告があった。（資料60-5）

5. 8月25日経営者連絡会について

スカパーJSAT代表委員から、本日8月25日に書面開催された経営者連絡会の内容が
 説明された。（資料60-6）

経営者連絡会 実施概要

－2023年8月25日開催－（書面開催）

衛星放送に関するプラットフォーム業務に係るガイドライン
 II-1-(1) 役務と提供条件の関係の透明性「徴収した手数料等の使途概要」の説明

1. 2023年第1四半期の業績概要

- ・スカパー！3サービスの新規加入、解約、純増減の各件数実績の年度推移
 ARPU推移、加入獲得、コストの内訳と各年度推移
- ・番組配信 登録者数の推移

衛星放送に関するプラットフォーム業務に係るガイドライン
 II-2-(3) プラットフォーム事業者に係るソフト事業の透明性：「自らが放送する
 コンテンツの関連収入と費用の概要、実施結果」を報告

1. 2023年度 第1四半期のコンテンツ事業収支と年度推移

6. 意見交換

ケーブルテレビ事業者への新たなパススルー方式の提供および経営者連絡会の開
 催方法について意見が交わされた。

岡本放送事業者代表委員より

ケーブルテレビ事業者への新たなパススルー方式の提供について、番組供給

事業者やケーブルテレビ事業者から質問が150件以上出ている。ケーブルテレビ事業者にとっては選択肢が増えることや多チャンネルの維持・復活などメリットは出てくると思われる。

一方で、伝送路の費用が安価になることについて評価は出ているが番組供給事業者としては、供給料金等の条件については引き続きケーブルテレビ事業者と話していくので、どう変わっていくのかに関心がある。

また、本件は110度パススルーなので、124/128度だけの番組事業者からすれば例えば将来的に何かあるのかどうか。

それと110度の番組事業者だけを集めた会議を開催しているが、124/128度の番組事業者だけで会議を開催した方が業界全体のためには良いと感じている。

堀事務局員（スカパーJSAT）より

ケーブルテレビ事業者で多チャンネルを全く展開していない局が、新たに多チャンネルのサービスを始めてみようかと検討くださっている小規模なケーブルテレビ事業者様向けに、1つパッケージをつくって展開することで、新たなお客様を増やそうという取り組みに対するご質問が、今かなり来ている。当社もまだ十分に説明をし切れていないところがあるので、より丁寧な説明をして、ご理解を深めていければと思っている。

~~いわゆるケーブルテレビ事業者様側でパッケージを作り、その際に110度のチャンネルを使うというサービス展開になる。~~現在多チャンネルを提供しているが経済的に継続が難しいというケーブルテレビ事業者に向けてコストを抑えて提供できる形としては、ケーブルテレビ事業者様側でパッケージを作り、その際に110度のチャンネルを使う方式を提案している。

124/128度のみの番組事業者に関しては、まだまだ課題はあるが、少なくともコスト面も含めて優位な形で、何とか多チャンネルを継続してもらえるように、いわゆる業界全体の維持というところに貢献できているのではないかと考えている。

最後の124/128度 放送事業者の位置づけについて、先ほどの資料を見ていただいてもおわかりの通り、今我々として何とか事業が維持できているのは124/128度のお客様があつてのことです。

一社）衛星放送協会 岡本専務理事を通じて、プレミアムパックのみのチャンネルとの対話

についても、代表的な番組事業者だけというところもあるかとは思いますが、今現在も行っており、個別の対話は継続して実施していきたいと思っている。

7.その他

- ・事務局員の交代について

8月末をもって、藤田事務局員が東北新社を退社するに伴い、同じく東北新社金田氏に交代することとなった。

「衛星放送のプラットフォームガイドラインに関する委員会」運営規則第18条に基づき、音委員長代理から事務局員として指名された。

ー運営規則 第18条

「事務局は、衛星放送協会とスカパーJ S A Tの推薦により委員長が指名する。」

・次回開催について

12月1日（金）13:00から開催予定。

以上